

株式会社 サカモト

認定テーマ名：「西川材」エコロジー住空間創造事業

1. 認定事業の現況

この認定事業を通じて大きく変わったことは、お客様の幅が広がったことである。当社はゼネコンを通じたビジネスユーザー100%であったのだが、現在はその割合は80~85%となり、15%程度が顧客の顔が見えるようになってきた。西川材エコロジー住空間創造事業の象徴ブランドとして、2008年に誕生した「River*green」シリーズは、リビングデザインセンターOZONEのプロデュースによりデザイナーを迎え、当社オリジナル商品として完成。その後、オーダーキッチンである「TUMIKI」も生まれ、不燃壁装材のウッドピール…などドアから始まる住空間全体への広がりを進めてきた。木製建具メーカーから、住空間提案メーカーと事業領域を広げてきた。今までは、ゼネコンからの要請に従っていたためカタログもショールームも持つ必要がなかったが、この事業を通じて仕事の発想が変わり、自ら発信し提案していくスタイルに変わった。現在、ゼネコン受注の仕事は価格競争が厳しく、あの時、この事業を試みていなかったらどれだけ不安だったろうか、と心からやって良かったと感じているとのことである。

現在は、介護施設、個人住宅などの施工も広がり、だんだん結果が生まれてきているところである。



自社ショールーム



ショールーム内の西川材を使ったオリジナルキッチン

2. 今後の展望（見通し）

今後は、自社ショールームを活用し、地元工務店、リフォーム会社、設計事務所などへの提案を進めていき、積極的なPR活動を行う。

これまでは、地元埼玉県の取引が少なく、東京・神奈川を中心とした施工であったが、今後は地元の顧客層を拡大していくために、ショールームを最大限活用できる営業活動を展開し、西川材及び自社ブランドのPRを進めていく。



介護施設内の施工事例



ドアから始まる住空間提案事例

3. 認定を目指した経緯

ドアを中心とした建具に特化していた当社だが、ゼネコンからの受注のみでは、価格競争が厳しくなる一方であり、独自に開発したオリジナル商品を持つことの必要性を感じていた。当社の本社所在地である飯能市は、西川材の産地でもある。しかしながら、国産の木材は海外の木材の価格競争力には太刀打ちできずに、植林や手入れがされず、山も荒れてしまっていた。

そこで、地元産の西川材を使用し、ドアだけではなく、住空間全体を創造提案し付加価値を高められるよう、インテリアも含めたオリジナル商品開発に取り組み、西川材の再興及び自社ブランドを持ちたい、と認定を目指した。

4. 利用した中小機構の支援策

中小機構のパートナー企業であるリビングデザインセンターOZONE を紹介し、デザイン性の高いオリジナル商品開発を支援。また、各種展示会出展・研修会情報の積極活用を支援。

5. 企業概要

事業者名	株式会社 サカモト		
本社所在地	埼玉県飯能市山手町 25-21		
ホームページアドレス	http://eco-sakamoto.co.jp/		
設立年月	1966年3月		
資本金	20,000千円	従業員数	25名
売上高	全体 370,000千円、認定事業の売上高 40,000千円		

※平成24年1月31日現在

6. 認定事業の概要

テーマ名	「西川材」エコロジー住空間創造事業
テーマの概要	西川材を全面に生かしたエコロジー住空間及び西川材を使用したオリジナル建具などの住宅設備、住建材の企画・開発。
認定期間	平成20年1月1日～平成24年1月31日